

双葉地方町村会・議長会合同の要望活動を実施



↑ 双葉地方町村会・議長会合同の要望活動

双葉地方町村会と双葉地方町村議会議長会は6月1日、2日の2日間、復興庁など関係省庁に対し要望活動を行いました。国際教育研究拠点の整備や帰還困難区域の取扱い、東京電力福島第一原子力発電所で発生する処理水の処分の正確な情報発信、万全な風評対策などについて要望し、自然豊かで暮らしやすい「ふるさと双葉地方」を取り戻し、双葉地方の復興が成し遂げられるまで国の責務としての対応を強く訴えました。

西銘復興大臣が町内を視察



↑ パナナ園を視察した西銘復興大臣(左から2人目)

西銘恒三郎復興相は6月4日(土)、広野、田村、楡葉の3市町を訪れ、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興状況を視察しました。

広野町内では、ふたば未来学園中・高を訪れ、生徒たちと意見交換をした後、二ツ沼総合公園内のトロピカルフルーツミュージアムへ移動し、町で取り組んでいるバナナの生産について、町の振興公社の中津弘文社長より説明を受けました。

「未来のかけ橋エレベーター」の完成式



↑ 「未来のかけ橋エレベーター」の完成式

「未来のかけ橋エレベーター」の完成式が6月6日(月)、広野駅東口ロータリー広場で行われました。完成式には、約25人が出席し、遠藤智町長が「本エレベーターの供用開始により、地域のバリアフリー化が図られるとともに広野駅、駅周辺の各施設の利用促進につながるものと期待しています。」とあいさつを述べ、渡邊治幸いわき駅長と加賀谷宏明県ふたば復興事務所長、北郷幹夫町議会議長が祝辞を述べ、遠藤町長とともにテープカットしました。

旧緊急時避難準備区域の4市町村合同要望活動を実施



↑ 4市町村合同要望活動

原子力災害による緊急時避難準備区域に指定されていた広野町、南相馬市、田村市、川内村合同の要望活動が、5月31日(火)、福島市内の福島復興局において、西銘恒三郎復興大臣および石井正弘原子力災害現地対策本部長に対して行われました。要望書は福島復興局の生沼裕局長に手渡し、医療費免除や高速道路無料化措置など住民の生活再建に対する切れ目ない支援が必要であることを強く訴えました。

「沼津の杜公園」看板除幕式



↑ 「沼津の杜公園」看板除幕式

「沼津の杜公園」看板除幕式が6月16日(木)、広野駅東側地区の下浅見川字広長地内で行われました。

除幕式には、学校法人沼津学園 企画広報室長である坂根英夫様をはじめ、桐陽高校2年生95名が参加しました。遠藤町長は、除幕式の中で「『沼津の杜公園』の日本一早く咲く桜“河津桜”が大きく成長し、綺麗な花を咲かせ、多くの町民のみなさんの憩いの場となるよう大切にさせていただきます。」とあいさつをのべました。

広野町と社会福祉法人友愛会における福祉のまちづくり構築などに関する協定の締結



↑ 社会福祉法人友愛会と福祉のまちづくりの構築に関する協定締結式

広野町と社会福祉法人友愛会における福祉のまちづくり構築などに関する協定締結式が5月27日(金)、全員協議会室で行われました。

締結式では、遠藤智町長と友愛会の早川秀輝理事長が協定書にサインをしました。

町は、「広野町地域包括ケアシステム」を構築することを目的に、これまでに広野町、医療法人社団養高会、馬場医院、広野町社会福祉協議会、ときわ会グループとそれぞれ協定の締結を行っています。

五社山登山を開催



↑ 青空の下、開催された五社山登山

5月29日(日)、広野町のシンボルの一つとして親しまれている五社山登山が実施されました。

当日は、快晴で登山日和となり、町内外から参加した約60人が新緑や山頂からの眺めを楽しみました。

参加者は準備運動をして登山口から約30分かけて頂上に到着し、登頂では、参加者が短冊に思い思いに書いたメッセージをバルーンに乗せ、新緑の五社山がいろいろとどりのバルーンに包まれました。

花いっぱい運動を実施



↑ 花いっぱい運動に参加した皆さん

町振興公社が主催する「花いっぱい運動」が6月11日(土)、二ツ沼総合公園で行われ、集まった町民らがサルビアやマリーゴールドの苗を園内の花壇に植えました。

町民のみなさんや地元企業のみなさんなど100名を超える方々の参加があり、1時間程度植栽を行い、花壇は鮮やかに彩られ、参加者は気持ちのいい汗を流していました。

作業終了後には、参加者へ自宅用の苗が配布されました。